

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 4月 30日

事業所名 放課後等デイサービス ナーチャーハーツ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%		
	2 職員の配置数は適切である	100%	0%		
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	・入口がスロープになっている	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	89%	11%	・朝礼に職員全員が参加し、毎日話し合う時間を設けている。	・PDCAサイクルを活用していきたい
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	・保護者の意見を参考にしている	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	・ホームページにて公開している	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%		
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	・担当を決め月1回以上行うようにしている ・研修は出来る限り行っている ・外部の研修について情報収集し、積極的に参加している	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	・職員全体で情報を共有し、話し合う機会を設けている	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	全職員でプログラムの検討を行っている	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	・担当者を変えたり、前年度の記録を踏まえてプログラムを考えている ・毎週違うSSTを行い工夫している	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	・休日、長期休暇は日案を作成し計画して取り組んでいる	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	・個別に支援が必要な子どもに対しての取り組みなどを行っている	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	・当日の朝礼に打ち合わせの時間を組み入れている ・毎日朝礼をして役割等を決めノートに記入している	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	・翌日の朝礼時に全員で振り返りを行い記録している ・朝礼で当日の打ち合わせも毎日行っている	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	・朝礼ノートに記録をとっている	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	・6ヶ月に1回行っている		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	100%	0%			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	・子どもの状況について職員全員で意見を出し合いまとめて記録したものを持参して会議に参加している ・児童発達管理責任者が参加している	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	・保護者を通して学校と連絡調整を行っている ・保護者とLINEや予定表で行っている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	100%	0%	・現在は医療的ケアが必要な児童なし	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	0%	100%		・保育園や幼稚園とは情報共有はしていない
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	44%	44%	・イベント時等に利用児童の兄弟児との交流はある	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0%	100%		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	・送り時には保護者と顔を合わせるがあるので、伝えあっている	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0%	100%		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	・職員間で相談内容を共有して必要な助言などを行っている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100%	0%	・保護者会を開催している(今年初めての開催)	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	・月1回手書きのナチャ丸通信を発行している	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	・視覚支援を活用したり分かりやすい言葉を使うようにしている	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%		・地域住民との交流を今後する予定がある

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	・災害時の避難場所は、契約時に書面で保護者に配布し説明している	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	・定期的に避難訓練(地震・火災・風水害)を実施している	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	・年間行事に虐待防止研修を組み込んでいる	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%		